

ワンベップドリームアワード
今年もまた、1年に1回の「ONE BEPPU DREAM AWARD」を開催し、この場に集う勇敢なチャレンジャー、夢を語る次代のイノベーターを募集します。

ONE BEPPU DREAM AWARD 2021

まち・ひと・しごとが繋がる

「熱いまち」を創っていくアイデアをぜひ聞かせてください。

8/16(月)まで

募集中



応募者

エントリーはこちらから

「ONE BEPPU DREAM AWARD」は、別府で夢の花を咲かせたい方々がプレゼンテーションするイベントです。
今年は11月12日(金)にファイナリストの皆さんが自身の夢を語ります。
温泉、観光、人、アートなど、別府には様々な可能性が眠っています。未来の別府を創っていきたいという人の多数のエントリーを心からお待ちしています。
安心して会える日がなかなか遠く、もどかしい日々が続きますが、「Welcome Back to Beppu」と言える日を願いつつ、ポジティブなメッセージを別府から発信します。

ファイナリスト決定

通過者7人を予定

二次審査
(プレゼン選考)

通過者20人を予定

一次審査
(書類選考)



ONE BEPPU
DREAM
AWARD
ホームページ



全体スケジュール

- 8月5日(木)
キックオフカンファレンス開催
- 8月20日(金)
セミファイナリスト発表
- 8月28日(土)
ビジネスプランブラッシュアップ DAY1
- 9月4日(土)
ビジネスプランブラッシュアップ DAY2
- 9月11日(土)
ファイナリスト選考会
- 9月15日(水)
ファイナリスト発表
- 9月15日(水)～11月11日(木)
ファイナリストブラッシュアップ期間
- 11月12日(金)

ONE BEPPU DREAM AWARD 2021

※一次審査を通過したセミファイナリストは、ビジネスプランのブラッシュアップ(プレゼンテーション指導など)を受けます。

※全体スケジュールは予定です。変更する場合があります。

8月5日(木) 16時30分～17時30分
会場 別府市公会堂
「キックオフカンファレンス」開催

サポーター企業も募集します！

サポーター企業とは、起業家の活躍と成長を継続的に応援する民間企業・金融機関・起業家支援団体などです。

当日会場で登壇するファイナリストのプレゼンテーションを見て、「この人、応援したいな!」という人のファンになってもらいます。その後、夢の実現に向け、「サポーター賞」としてビジネスモデルのブラッシュアップ、場所などの提供をお願いします。

※サポーター賞の提供は任意です。

※サポーター企業登録などは本イベントのホームページをご覧ください。

市文化国際課 ☎21-1131
B-biz LINK ☎76-5205

スピーチを経験した、ファイナリストを取材

ONE BEPPU DREAM AWARD は、2019 年から始まり、すでに過去2回開催しています。
第1回目ファイナリストの野中牧さん、第2回目ファイナリストの円城寺健悠さんにお話を聞きました。



株式会社 薬けん のなか まき
代表取締役 / 薬剤師 **野中 牧さん**

ONE BEPPU DREAM AWARD 2019
事業タイトル：「薬剤師による働き方
改革～働く女性をサポートする事業」



薬剤師の新しい働き方をつくる。

薬局・病院の一時的な勤務要請と薬剤師との双方向のマッチングを実現するため、「ふぁーまっち」アプリを開発しました。

◆このアプリ開発を行った理由

一出産・子育てをしながら薬剤師として働いていた当時、私がいた薬局には2人しか薬剤師がいませんでした。子どもの体調が悪かったり、学校の行事があったり、休みたいけど職場に迷惑をかけてしまう。そんな時、「誰か代替りの人が来てくれたらいいのに」とずっと思っていました。待っていても誰かが何かをしてくれるわけでもない、だったら自分でつくろうと思い始めました。

◆事業を始めようと決心してから

一薬剤師の世界しか知らなかったため、起業の仕方などを一から学びました。始めはアナログでサービスを稼働させ、その後ホームページ、アプリへと試行錯誤しながら今の運用に落ち着きました。

現在、「(株) 薬けん」を開業し、アプリ開発、薬剤師業務、起業講師などを行いながら子どもを育てる野中さん。毎日きつくないですかと尋ねると、「自分のやりたいことができるから、きつと思ったことは一度もないです!」ときっぱり。強い意志と溢れるエネルギーを持った素敵な働く女性でした。

別府のアーカイブズを守る。

別府大学3年、日本史・アーカイブズコースのアーキビスト養成課程で学びながら、収集したアーカイブズ作品の活用の幅を広げようと別府市内の至る所で活動を続けています。

◆アーカイブズに着目した理由

一小学3年生の時、祖父に「戦争の記憶を残してほしい」と言われたことが心に残っていました。そして、自然と「歴史を残し伝えること」が自分のしたいことなんだなと思うようになりました。

◆大学1年生で、ONE BEPPU DREAM AWARD にエントリー

一高校まで野球と勉強漬けだった私は、何か変わりたいとずっと考えていました。そんな時にワンベップを知り、「何もしないと変わらない。このチャンスを逃したら何もないまま残りの3年間で終わってしまう。」と思い、挑戦することにしました。実際、参加してみて大きく変わりましたね。他の参加者に「円城寺君が一番成長したんじゃない。」と言われました。個展を開けたり、人との繋がりもでき、本当にたくさんの人に支えられました。



別府大学 / 文学部
史学・文化財学科3年 **円城寺 健悠さん**
ONE BEPPU DREAM AWARD 2020
事業タイトル：「別府のアーカイブズを守ろう」

現在、アーカイブズ事業を更に発展させていくため、企業に作品を提供したりマガジンを発行したりと常に挑戦し続ける円城寺さん。会話の中で、「私はこんな恰好で少し目立ちますが、普段学校では書庫に入り相当地味な作業をしています。」と少し照れながら笑う姿が印象的でした。